レセプトチェッカーLS　インストール版
簡易マニュアル

1　ルーチンワーク

1－1　操作手順　・・・　1

1－2　起動　・・・　2

1－3　レセプトチェック　・・・　3

1－4　学習機能　・・・　6

チェックデータの追加　・・・　7

審査対象の変更　・・・　10

1－5　印刷　・・・　13

2　初期設定　・・・　14

注：学習機能を実行しないとレセプトチェッカーは正しく動作しません。
　　学習機能は必ず実行してください。

本説明書は「レセプトチェッカーLS　インストール版」の基本操作について説明したものです。
詳細な操作方法はアプリに付属の操作マニュアルを参照してください。

アイコンをクリックすると、マニュアルフォルダが表示されます。
最新の操作マニュアルはレセプトチェッカーLSのホームページに掲載しています。

レセプトチェッカーLS
Receipt Checker Learning System

販売：DX Care　DX CARE株式会社
医学監修：長崎県保険医協会

｜ 第１章 ｜ 基 本 操 作 編 ｜

１　ルーチンワーク

１－１　操作手順

初めてレセプトチェッカーをお使いになる場合の操作手順を示します。
細かな設定、機能につきましてはマニュアルの該当ページをご参照ください。

（１）｜ レセプトチェッカーをインストールする。

●インストールマニュアルに従ってレセプトチェッカーをインストールしてください。

（２）｜ 電子レセプトを用意する。

●チェックする電子レセプト（ファイル名はRECEIPTC.UKE です）を電子媒体（ハードディスク、USB メモリー、CD-ROM 等）に入れて用意してください。

●院外処方の場合には、実際に提出するものと別にチェック専用の電子レセプトが必要です。

（３）｜ レセプトチェッカーを起動する。

（４）｜ レセプトチェックを行う。

●最初のレセプトチェックでは、非常に多くのレセプトが不合格と判定されるのが普通です。

（５）｜ 学習機能を実行する。

●学習機能を実行することで医療機関ごとの実績にあった設定となり、本当に不合格のレセプトだけが残ります。
●一度学習させると次の月からはほとんど手間はかかりません。

（６）｜ 印刷を行う。

（７）｜ 印刷物の漏れていた病名に〇をつける、あるいは病名を追加する（医師）。

（８）｜ 医師の指示をもとにレセコンを修正する（医療事務）。

（９）｜ 電子レセプトの提出前に確認のレセプトチェックを行う。

●最終の確認作業です。もし、まだ不合格のレセプトが含まれる場合には、（４）以下の作業を繰り返します。

１－２　起動

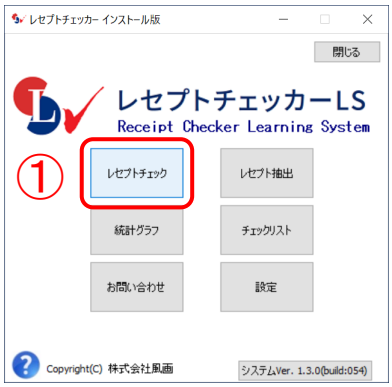
レセプトの準備と起動

直近の電子レセプトを準備します。複数の過去レセプトがあればより望ましいです。院内処方であれば提出済のレセプトを、院外処方の場合には処方箋の内容を含んだチェック用のレセプトをUSBメモリーあるいはハードディスクなどにいれて用意してください。

注：チェック用レセプトの作成法はレセコンのサポート業者にご相談ください。
　　レセコンの機種によってはチェック用レセプトが作成できない場合があります。

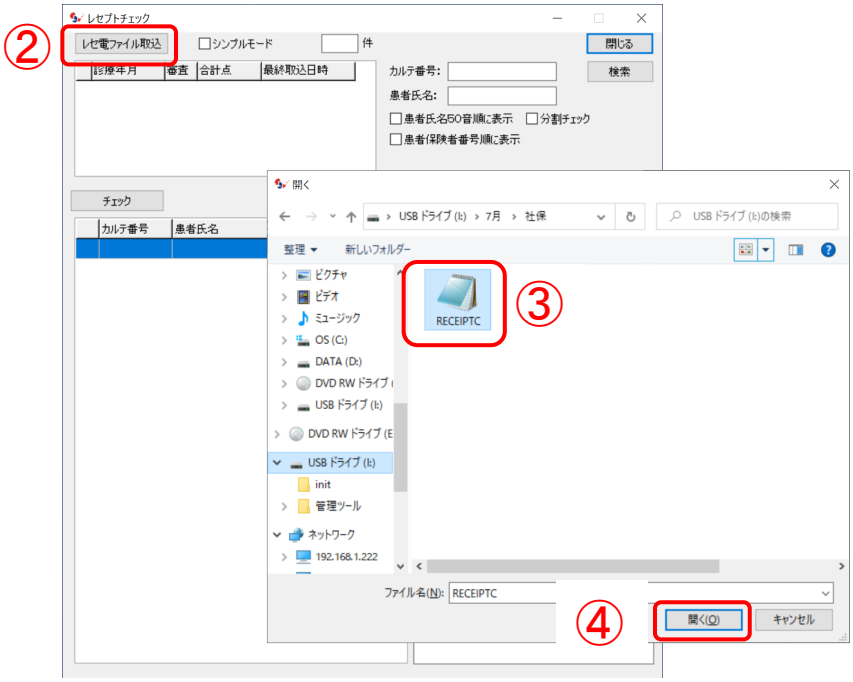
レセプトチェッカーLSインストール版のショートカットをダブルクリックすると、「メニュー」画面が起動します。

レセ電ファイルの選択



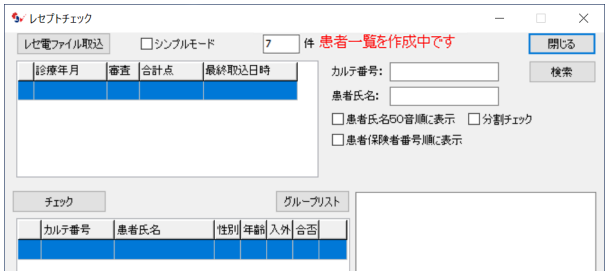
①「メニュー」画面の［ レセプトチェック］をクリックします。
「レセプトチェック」画面が開きます。
②　［レセ電ファイル取込］をクリックします。
電子レセプトの場所をたずねてきます。

③　電子レセプト（RECEIPTC.UKE）の場所を指定して
④［開く(O)］をクリックします。



１－３　レセプトチェック

患者一覧



電子レセプトが選択されると、まず、患者一覧が作成されます。

注：患者一覧作成時やレセプトチェック時に、
（応答なし）になって、画面が一時的に止まったように見える場合がありますが、処理はすすんでいますので、そのままお待ちください。

レセプトチェック

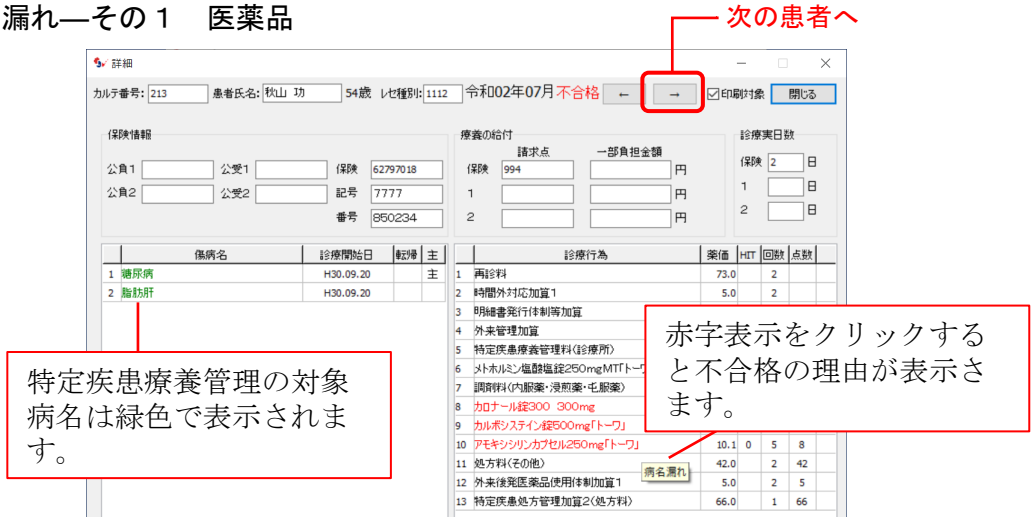
続いてレセプトチェックが実行されます。
合格のレセプトは黒字のまま、不合格のレセプトは赤字で表示されます。
注：患者一覧作成時、レセプトチェック時にはマウスで画面をクリックしないでください。画面が（応答なし）になる場合があります。

「グループリスト」画面

レセプトチェックが終わると、合格と判定されたグループと、不合格と判定されたグループをリスト表示した「グループリスト」画面が表示されます。
最初にレセプトチェックを行うと、非常に多くのレセプトが不合格と判定されます。
上図の例でも184 件のレセプトのうち、137 件が合格、47 件が不合格となっています。
この不合格の中には、実際の審査では通る合格のレセプトが含まれています。
これを除く処理が学習機能です。
不合格と判定されたグループのリストの患者氏名をダブルクリックすると、「詳細」画面が表示されます。

「詳細」画面

●病名漏れ―その１　医薬品



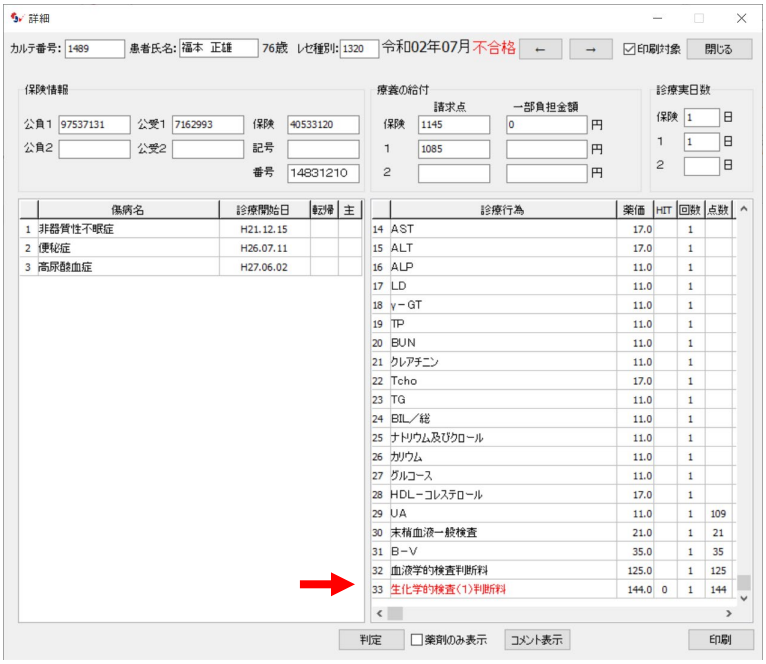
「詳細」画面では、不合格と判定された薬剤、検査等の行は赤字で表示されます。
カロナール錠、カルボシステイン錠、アモキシシリンカプセルが赤字表示になっていますが、傷病名欄を見ると対応する病名がありません。病名もれのレセプトです。
確認が終ったら、 → をクリックして次の患者のレセプトに移動します。

注：初期状態では薬価が7円以上の医薬品について病名漏れ点検を行います。
　　7円未満の医薬品も病名漏れ点検の対象としたい場合には、
「初期設定」画面で「薬価判断」のチェックを外してください（14ページ）。

●病名漏れ―その２　検査

検査もチェックの対象とします。

血液検査のセット検査については、生化学的判断料Ⅰにチェックデータが設定されています。



１－４　学習機能

最初にレセプトを自動点検した結果には、実際は審査に通るにもかかわらず不合格と判定されたレセプトが多く含まれています。

審査に通るレセプトは合格と判定されるように設定を変更する必要があります。

レセプトチェッカーLSは画面点検を行いながら効率的に設定を変更していきます。この機能を「学習機能」と呼びます。

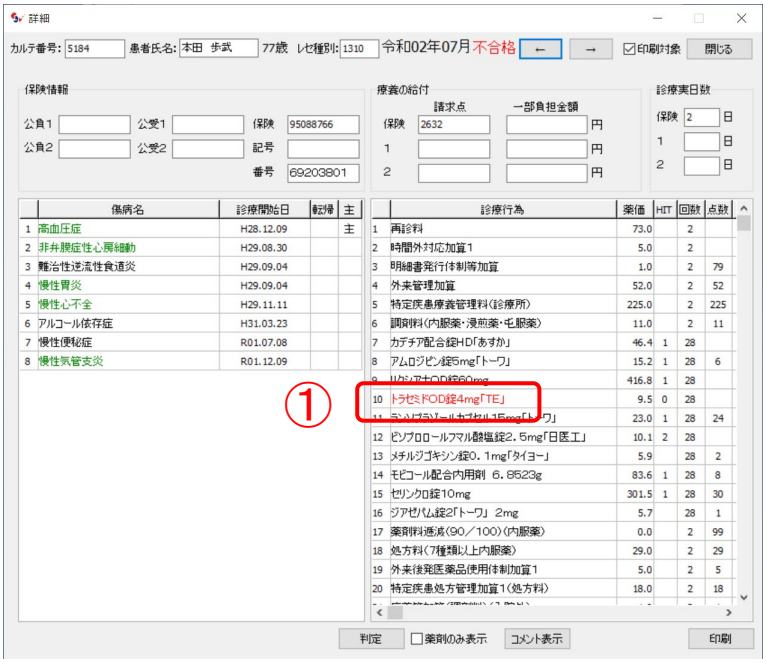
通る

通る

減点査定

学習機能により本当に不合格のレセプトだけを選び出せるようになります。

●実際は合格なのに不合格と判定された例ーその１
＜チェックデータの追加＞



トラセミドＯＤ錠が赤字表示になっています。しかし、「慢性心不全」の病名があるので、このレセプトは合格です。
トラセミドＯＤ錠は「慢性心不全」で審査が通ることを学習させる必要があります。

①　トラセミドＯＤ錠をダブルクリックすると、「適応症修正」画面が開きます。

レセプトチェッカーの原理

レセプトチェッカーは文字列の照合により合否を判定します。
トラセミドＯＤ錠の適応症は添付文書によれば以下のように定められています。

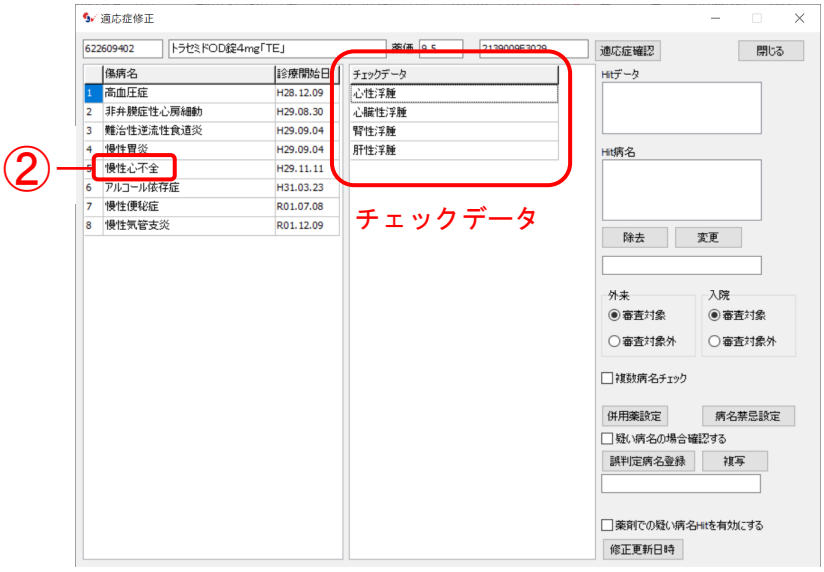
効能又は効果

心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫

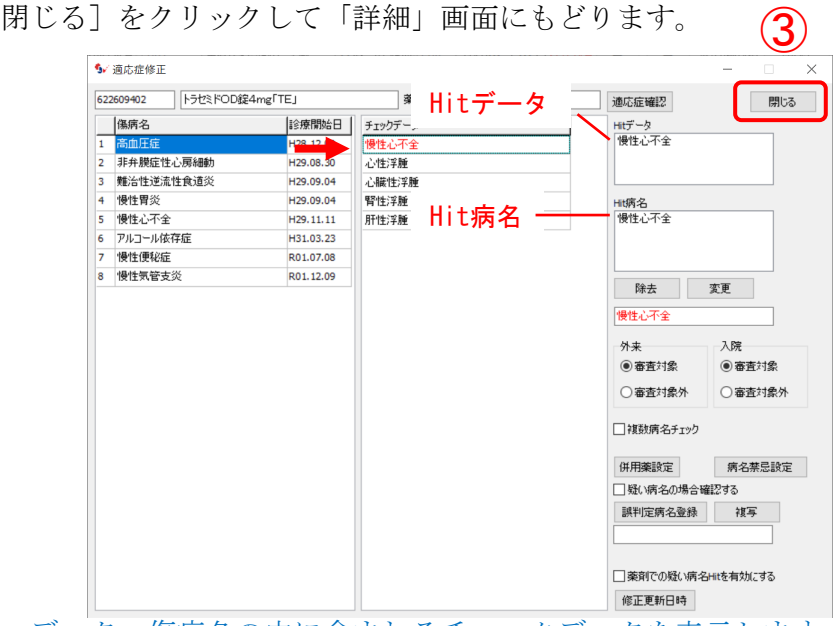
これにもとづき、レセプトチェッカーのトラセミドＯＤ錠には「心性浮腫，心臓性浮腫，腎性浮腫，肝性浮腫」の文字列があらかじめ設定されています。この文字列をチェックデータと呼びます。
傷病名の中に、このいずれかの文字列を含む傷病名があれば合格、なければ不合格と判定します。
薬剤ごとのチェックデータに文字列を追加したり、削除することによって、医療現場の実情にあったレセプトチェックを行うことができるようになります。
これを学習機能と呼びます。

「適応症修正」画面

トラセミドＯＤ錠の適応症は「心性浮腫、腎性浮腫、肝性浮腫」ですが、
薬理学的に「慢性心不全」は審査に通ると判断されます。
注：通るかどうかの判断は都道府県によって異なります。
②　傷病名欄の「慢性心不全」ををダブルクリックします。



慢性心不全がテキスト欄に入り、チェックデータに追加されます。これで、トラセミドＯＤ錠は「慢性心不全で通る」と学習されました。
③　［閉じる］をクリックして「詳細」画面にもどります。



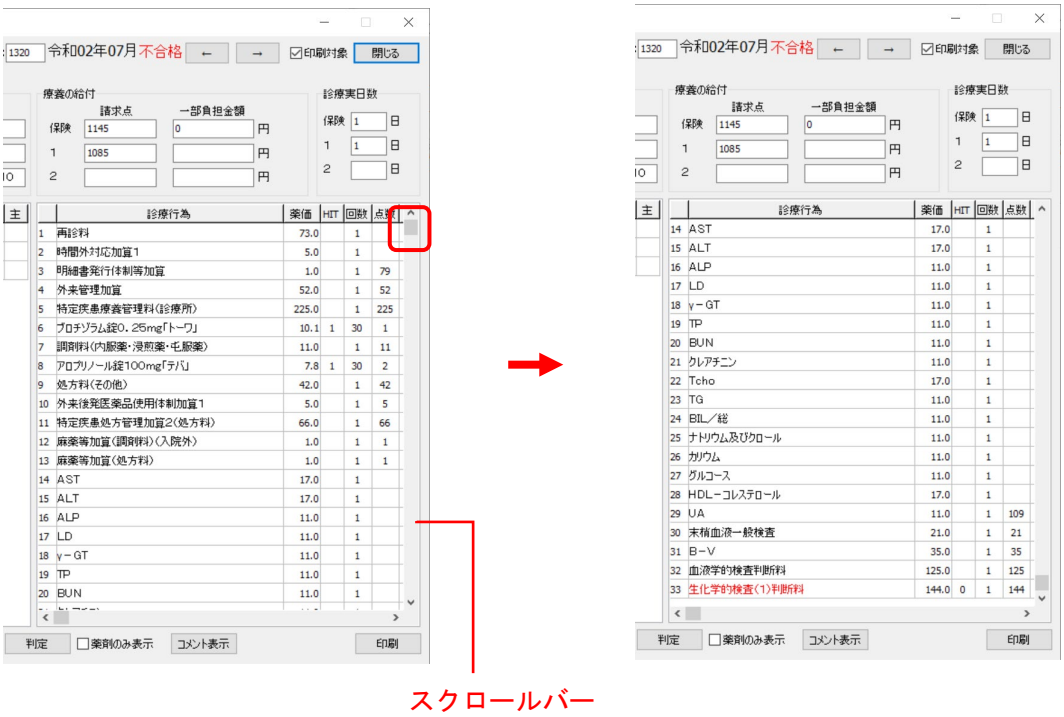
Hit データ：傷病名の中に含まれるチェックデータを表示します。
Hit 病名：一致するチェックデータを含む病名を表示します。

チェックデータの文字列をクリックすると、テキスト欄にその文字列がはいります。
［除去］をクリックすると、チェックデータからその文字列が除去されます。
テキスト欄の文字列を変更し、［変更］をクリックすると、チェックデータも変更されます。

トラセミドOD錠が黒字表示となり、合格と判定されました。

→ をクリックして次の患者のレセプトに移動します。

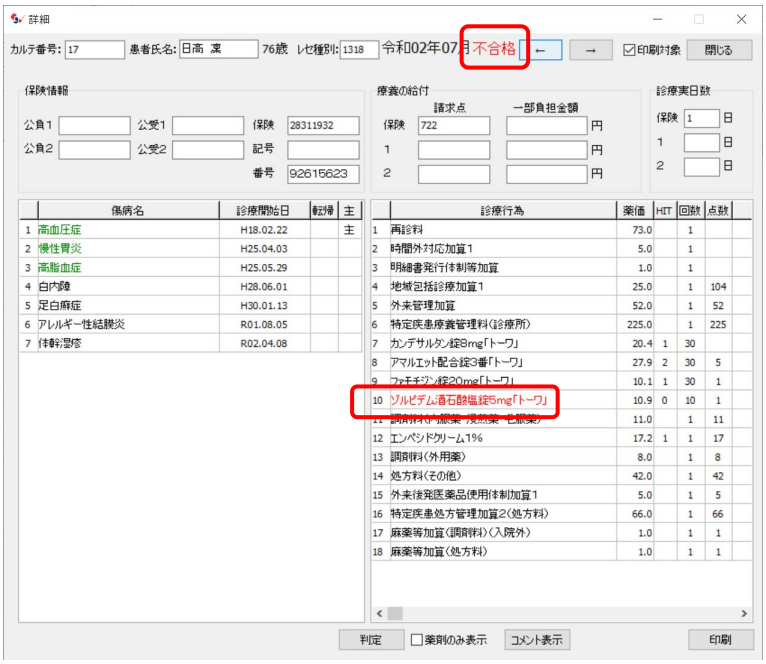
注：詳細画面で不合格と判定されているのに画面に赤字表示がない場合には、不合格と判定された薬剤、検査が画面の下に隠れています。
画面の右にあるスクロールバーで下方へおくると、不合格と判定された薬剤、検査が表示されます。



スクロールバー

●実際は合格なのに不合格と判定された例ーその２

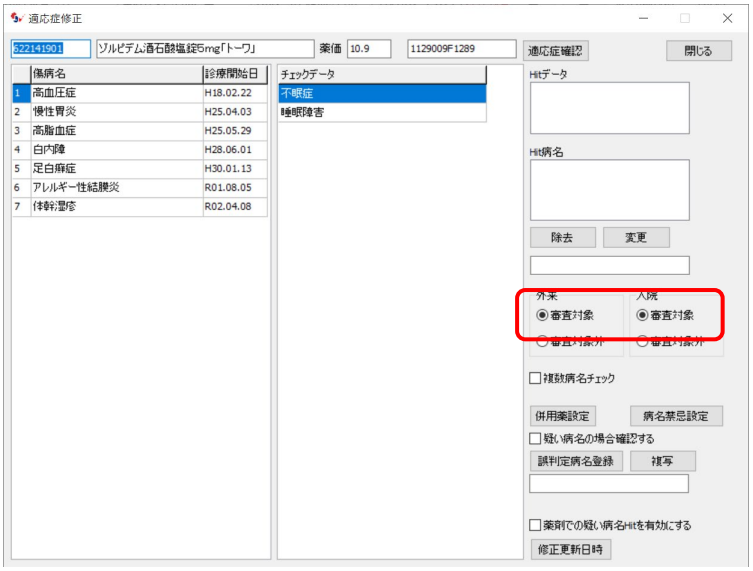
＜審査対象の変更＞



ゾルピデム錠が赤字表示になっています。しかし、ゾルピデム錠（睡眠薬）は特に不眠症の病名が無くても通してくれます。

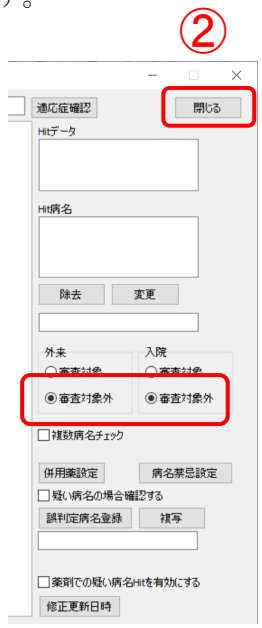
注：都道府県によっては通らない場合もあります。

ゾルピデム錠をダブルクリックして「適応症修正」画面を開きます。



①

②



「適応症修正」画面が表示されたら、

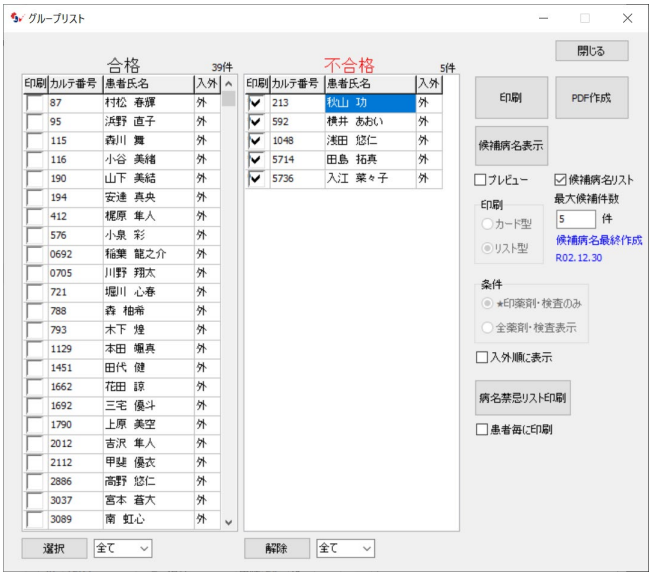
①「審査対象」のチェックを「審査対象外」に変更します。

　変更が終わったら、

② 上の［閉じる］で「詳細」画面にも戻ります。

「詳細」画面に戻ったら で次の患者に移動します。
本当の病名もれの患者はそのまま → で次の患者に移動し、実際は通るのに不合格と判定された患者はチェックデータの追加あるいは審査対象の変更を行い、
→ で次の患者に移動します。
リストの最後になったら、

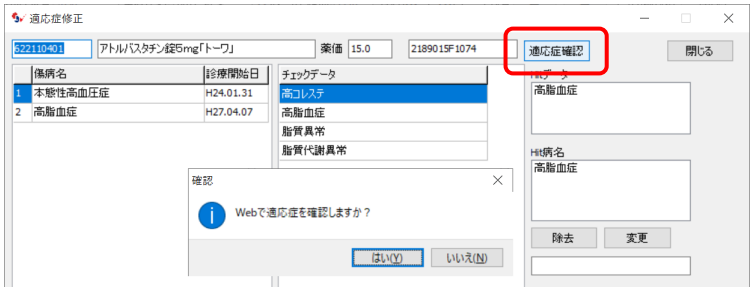
③［OK］をクリックし、
④［閉じる］をクリックして「グループリスト」画面にもどります。



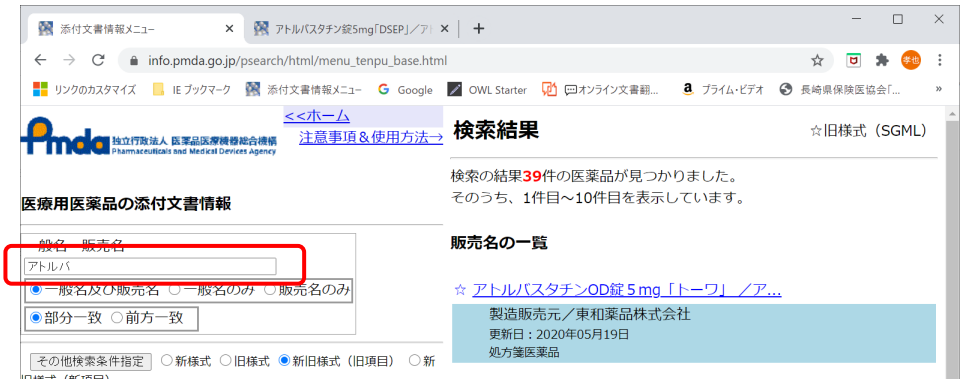
病名もれのレセプトだけが残り、不合格は6件と少なくなりました。
病名もれのレセプトを印刷し、社保が終わったら、国保、後期高齢者についても同様の操作を繰りかえします。
注：一度学習させてしまえば、次月よりは学習させる頻度はずっと少なくなります。
　　学習を繰り返すことでレセプトチェッカーは次第に賢くなっていきます。

適応症の確認

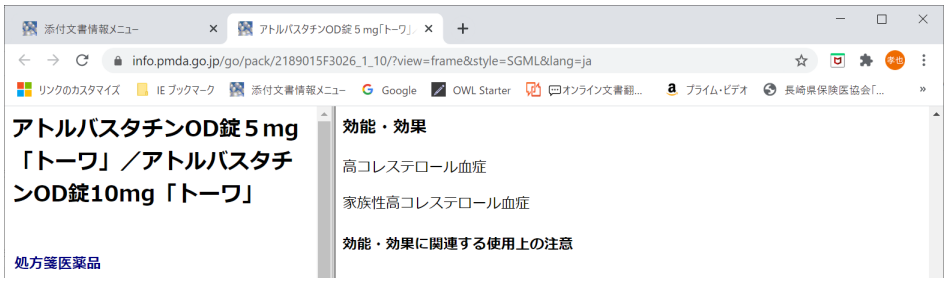
レセプトチェッカーがインストールされているパソコンがインターネットに接続されている場合、「適応症修正」画面の右上にある［ 適応症確認］をクリックすると、医薬品医療機器情提供ホームペー　ジが表示され、その薬剤の適応症を確認することができます。
［適応症確認］をクリックしたときに薬剤名の一部をクリップボードに記憶しています。



ホームページの一般名・販売名の欄にカーソルを移動し、右クリックで「貼り付け」を選択すると薬剤名の一部が貼り付けられますので、［Enter］キーを押します。



薬剤名の候補が表示され、目的の薬剤名をクリックすると適応症が確認できます。



１－５　印刷

不合格と判定されたレセプトを印刷します。
グループリストの患者氏名の左にチェックが入ったレセプトが印刷対象となります。

［ 印刷］をクリックすると印刷対象のレセプトが印刷されます。
注：プレビューにチェックを入れて［印刷］をクリックすると、プレビュー画面が表示されます。［PDF作成］をクリックすると、PDFが作成されます。

令和02年10月国保　　2021/01/08　22:24:08

カルテ番号: 2
患者氏名: 青木　里咲

ドライアイ	H25.12.30	1. R02.10.12 カロナール錠300　300mg★	1. 急性気管支炎
眼精疲労	H28.05.16		1. 歯痛
高血圧症	H29.02.26		1. 感冒
過敏性腸症候群	H29.08.17		1. 急性咽頭炎
アレルギー性鼻炎	H30.04.05		1. 頭痛
メニエール病	R01.10.07		
慢性胃炎	R02.10.05		

カルテ番号: 72
患者氏名: 丸山　紗希

メニエール症候群	S60.07.31	1. R02.10.06 在宅移行早期加算（在医総管・施医総管）◆
本態性高血圧症	S60.07.31	
気管支拡張症	H07.09.25	
関節炎	H18.06.09	
慢性胃炎	H18.06.09	
心的外傷後ストレス障害	H18.06.09	
アルツハイマー型認知症	H30.06.07	

カルテ番号: 109
患者氏名: 本多　美香

高血圧症	H08.02.05	1. R02.10.16 ニポラジン錠3mg ◎
慢性胃炎	H31.01.15	
肩部筋肉痛	R01.11.06	
アレルギー性鼻炎	R02.10.01	

カルテ番号: 193
患者氏名: 杉本　結衣

高血圧症	S54.04.03	△　R02.10.13 単純撮影（イ）の写真診断
変形性膝関節症	S57.12.09	△　R02.10.13 撮影部位（単純撮影）~~腰椎~~ 肩
頚肩腕症候群	H29.03.03	
眼精疲労	H31.02.08	
体幹湿疹	H31.02.08	
アルツハイマー型認知症	H31.04.03	
心不全	H31.04.03	
徘徊	R01.10.02	
皮脂欠乏症	R02.02.19	
熱中症	R02.06.10	

カルテ番号: 316
患者氏名: 山根　煌

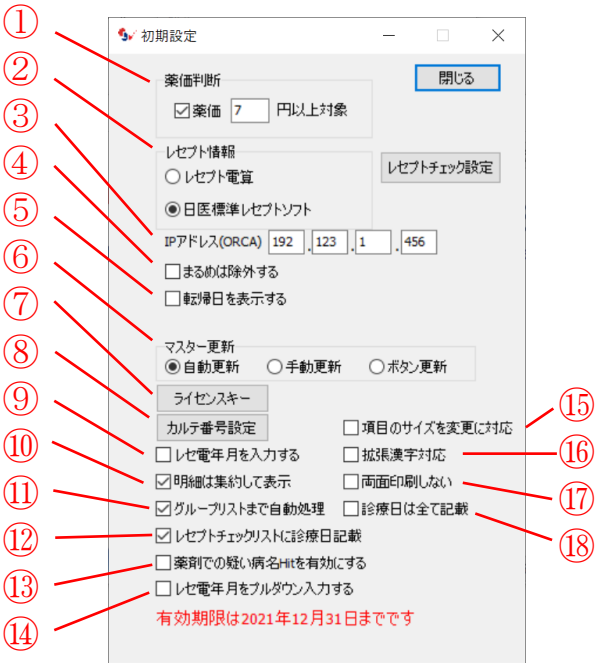
高血圧症	H02.01.04	1. R02.10.05 チアプリド錠25mg「日医工」★	
糖尿病	H16.08.19	2. R02.10.12 NT－proBNP★	2. 心不全
白血球増多症	H20.02.26		2. 心不全の疑い
非器質性睡眠障害	H21.10.08		2. 慢性心不全
慢性胃炎	H26.06.18		

★印は病名漏れ
◎印は診療開始日の誤り
△印は部位と傷病名の不一致
◆印はコメントコード漏れ

印刷した紙に、もれていた傷病名を手書きで追加し（医師）、医療事務に渡します。
医療事務はレセコンに傷病名を追加します。

2　初期設定

「メニュー」画面の［設定］→「設定」画面の［初期設定］→「初期設定」画面が表示されます。



① 設定された薬価以上の内用薬を審査対象とします。
初期値は７円以上になっています。
７円未満の薬剤は審査対象外となります。数字は自由に変えられます。
チェックを外すと薬価にかかわらず薬剤をチェックします。

② レセプト電算ファイルを対象とするか、ORCA を対象とするかを設定します。

③ ORCA のIP アドレス設定です。

④ 包括入力している診療行為をORCAから取り込まないようにします。

⑤ 傷病名の転帰日をリスト印刷に記載します（ORCAのみ）

⑥ マスター更新の方法を設定します。

⑦ 登録された医療機関コードとライセンスキーを表示します。

⑧ レセプト電算データで使用されるカルテ番号の開始位置と桁数を設定します。

⑨「ORCAレセプトデータ取込」画面で、取込むレセプトの年月が入力できるようにします。

⑩ 「詳細」画面で、レセプトを1ヶ月分集約して表示します。

⑪ 患者一覧→レセプトチェック→グループリストの処理を連続で行います。チェックを外すと個々に行います。

⑫ 印刷した不合格リストに診療日を記載します。

⑬ 薬剤で「疑い病名」をチェック対象にします。

⑭「ORCAレセプトデータ取込」画面で、取込むレセプトの年月がプルダウンで選択できるようになります。

⑮ Windows10 で画面が見切れてしまう現象を解消します。

⑯ ORCAで拡張漢字に対応します。

⑰「レセプト抽出」画面で、「印刷」を実行したときに両面印刷されるのを、片面印刷にします。

⑱ 診療日を全て記載します。

注：レセプトチェッカーによる判定の結果生じた返戻、減点、査定につきましては
　　責任を負いかねますのでご了承ください。

レセプトチェッカーLS　インストール版

ー簡易操作マニュアルー

２０２３年２月１日

■レセプトチェッカーLS

□開発・販売　DX CARE株式会社

□医学監修　　長崎県保険医協会

■お問い合わせ

DX Care　DX CARE株式会社

サポートデスク

〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目2-12 VORT 2F

☎ 0120-734-984　FAX：03-6821-0209

E-mail：rc-support@dx-care.com

URL：https://dx-care.com/